

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	スタッフ全員が事業所内の消火設備、避難経路を定期的に確認する機会がもてていない。	スタッフ全員が消火設備、屋外への避難経路について把握できている。	2か月に一度の頻度で消火設備(消火器、消火散水栓、火災報知器など)の取り扱いについて確認をする。(定例会議、避難訓練の機会を活用する)	12ヶ月
2	35	夜間等の人手の少ない時間帯を想定した避難誘導を安全で確実なものとする取り組みがなされていない。	スタッフ全体が災害への当事者意識をもち、夜間の避難誘導をスムーズに行う事ができる。	夜間等の人手の少ない時間帯の避難誘導についてスタッフ間でシュミレーションを行い、安全な避難・心配事などについて話し合う機会をもち取り組んでいく。 併設の養護老人ホーム、特別養護老人ホームとの連携についても確認し、スタッフに周知していく。	12ヶ月
3	6	入居者の安全を考え施錠している事が多く、決まった時間帯を解錠する対応が出来ていない。	決まった時間帯に解錠できるように取り組む。	スタッフ間で解錠に向けた工夫・意見を募り、可能な範囲から実践していく。また、身体拘束の及ぼす悪影響などについても学ぶ機会をもち、施錠されている事が普通では無い事を理解し取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。